

2023年(令和5年)1月11日(水曜日)



小野 社長

混迷の中にあるが、苦難の嵩(かさ)は皆同じだ。お客様の发展に従事する、不变の方針に寄与し社会の豊かさに貢献する、世のため、人のために尽くす公器

として、自動車機器事業、エネルギーソリューション事業、電子機器事業の3本槍をしつかり成長させていく。

3事業を3本槍と比喻したのは、3本槍で各市場に深く入り込み、長く続くようことの思いからだ。放たれたら終わりの矢と違

iniumモンドエレクトリックホールディングス 小野 有理社長CEO^{兼グループCEO}

15%以上とした中期5ヵ年経営計画「DSA」が22年度で一定の成果が得られるある特殊変圧器の点火

業利益率6%、ROE 15%以上とした中期5ヵ年経営計画「DSA」が22年度で一定の成果が得られるある特殊変圧器の点火

い、槍は手放さない。これから、23年度に新規要求品質第一中期5ヵ年経営計画を実現する。最終スタートさせる。最終年度の27年度に電子機器事業で800億円、自動車機器事業で350億円、エネルギーソリューション事業でも350億円の全社売上

にかかる意味も込め、自動車機器事業で350億円、エネルギーソリューション事業でも350億円の全社売上を続ける意図も込め、自動車機器事業で350億円、エネルギーソリューション事業でも350億円の全社売上を続ける意図も込め、自動車機器事業で350億円、エネルギーソリューション事業でも350億円の全社売上を続ける意図も込め、自動車機器事業で350億円、エネルギーソリューション事業でも350億円の全社売上を続ける意図も

い、槍は手放さない。

ことから、23年度に新規要求品質第一中期5ヵ年経営計画を実現する。最終

スタートさせる。最終

年度の27年度に電子機器事業で800億円、自動車機器事業で350億円、エネルギーソリューション事業でも350億円の全社売上

自動車機器など3本槍を成長

コイルの復活、新受注が入ってきた。米国、インドネシアでの原材料不足を起因とする、物流費アップ、人件費アップに対し復活の道筋も描き始めることができた。多くのア

クセ、リアクターの受付も取り戻す。田淵電機の祖業だが最も売り上げを伸ばせる事業として捲土重来を図る。

エネルギーソリューション事業はグローバルサプライチェーンの再構築や大手商社との取引開始で部材調達難

に持てきているため、車両のアダウンを食い止め、回復に向かいつつある。蓄電ハイブリッド

による1、2割のシェア

システムなどを生産する

に持続可能な成長を高め、さらにその2、3年後に売上高2000億円を目指す。さらにその2、3年後に売上高2000億円を目指す。

2023年度売上高1500億円を目標にする。24年度も同様に1500億円を目指す。さらにその2、3年後に売上高2000億円を目指す。

自動車機器事業は独自の技術力で、車両のアダウンを食い止め、回復に向かいつつある。蓄電ハイブリッド

システムなどを生産す

る。さらにその2、3年後に売上高2000億円を目指す。さらにその2、3年後に売上高2000億円を目指す。

自動車機器事業は独自の技術力で、車両のアダウンを食い止め、回復に向かいつつある。蓄電ハイブリッド